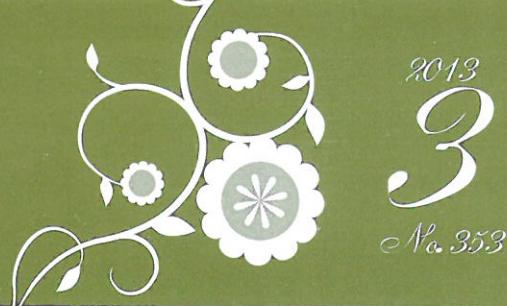


一杯の珈琲から 素敵なあなたに

発行 ● 2013年3月1日 編集 ● キヨーワズ珈琲(株)
本社企画室 京都府久世郡久御山町田井新荒見100 TEL0774(43)6369



香りでリラックス&リフレッシュ

季節の変わり目で、体調管理に気を使う時季。年度末の慌ただしさも手伝って、イライラしてしまいがちです。こんなときこそ、コーヒーを味わうひとときを大切にしたいものです。豊かな香りには緊張した気持ちをリラックスさせる効果や、脳の働きを活性化する効果が認められています。お気に入りの一杯を楽しんで、新鮮な気分で新しい季節を迎えましょう。

コーヒーはクスリだった?
ニシボン・コーヒー伝

☆コーヒーの木は、10世紀ごろにエチオピアの山中で発見されたといわれています。コーヒーの赤い実を食べたヤギが元気に飛び跳ねているのを見たイスラムの僧侶が、コーヒーチェリーを滋養強壮のために食べ、その煮汁を夜通し祈りを捧げる際の眠気覚ましに活用していたという話は有名です。その後、コーヒーはヨーロッパに伝えられ、飲むと頭がすっきりするなど身体に良い飲み物として、広く普及していったそうです。

☆では、かつて日本でもコーヒーがクスリとして扱われていたことをご存知ですか? 医薬品に「日本薬局方(にほんやっくよくほう)」と記されているのを目撃したことがあると思います。日本薬局方とは、厚生労働省によると「薬事法により、医薬品の性状及び品質の適正を図るため、厚生労働大臣が薬事・食品衛

生審議会の意見を聴いて定めた医薬品の規格基準書」のこと。つまり、ここに記載されているものは、医薬品と認められているということです。戦後間もなくまで、この日本薬局方にコーヒーの木(正式名称はコーヒーノキ)が収録されていました。胃薬として、あるいはビタミン欠乏症の処方薬剤として認められていたからです。戦後、海外との貿易が盛んになってコーヒーが普及するとともに、コーヒーノキは日本薬局方から削除され、代わりにコーヒーの主成分のカフェインが記載されるようになります。カフェインには、眠気を覚ます効果や高血圧による頭痛、倦怠感を緩和する効果などが認められています。

☆次回は遭難船の乗組員が飲んだコーヒーについてご紹介します。

A History of Coffee in Japan vol.9

「おこしもの」は、愛知県に古くから伝わるひな菓子で、「おこしもん」「おこしちち」「おしちち」とも呼ばれます。熱湯でこねた米粉を鰯や扇型の木型に入れて蒸し、食紅で色をつけたもので、菱餅と同じようにおひな様にお供えてからいただきます。砂糖または砂糖醤油をつけて食べるのが一般的で、固くなつたものは網で焼いて食べることもあるそうです。かつては家庭で作るお菓子でしたが、木型の不足などがあり、現在では和菓子店やスーパーで購入する人が多くなっています。

コーヒー派のためのお菓子百科

その39

おこしもの

愛知



Q 豆の種類によってコーヒーのリラックス効果は違うのですか?

A 杏林大学が、コーヒーを飲んだときのα波とP300という脳波の出方について調べ、コーヒーの香りが脳に与える影響は、豆の種類によって異なるという研究結果を発表して

います。実験によると、リラックス効果が高かったのはグアテマラやブルーマウンテンなど。一方、ブルガルサントスやマンデリン、ハワイコナは脳の働きを活発にする効果の

高さが認められました。香りをしっかり引き出すためには、新鮮な豆と保温性の高いカップを使って、正しい方法で淹れることが大切です。

✉ お便りお待ちしております!

誌面に関するご意見やご要望、珈琲Q&Aコーナーへのご質問、コーヒーにまつわる思い出など、どうぞ気軽にお寄せください。

郵便／〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見100

キヨーワズ珈琲株式会社「お客様相談室」

●E-mail／info@kyowas.co.jp

ホームページでもご覧いただけます。

キヨーワズ珈琲のホームページ <http://www.kyowas.co.jp>でも『素敵なあなたに』をお楽しみいただけます。ぜひ、ご覧ください。

